

英語表現 I EXPRESSWAYS English Expression I

評価規準 (例)

言語材料および On Closer Look は、言語活動の前提として、理解ができているかの「確認」が大切なので「判断・評価する」という表現にしてある (Word Bank については、言語活動においていかに活用しているかで間接的に評価する)。一方、言語活動は、その実演に基づいて「評価」の対象になるものである。もちろん、定期考査においてはすべて評価の対象になるものであるが、本書は「英語表現」が目的であるから、学習者の書いた英文原稿や口頭発表に評価の重点を置きたい。

a. 関心・意欲・態度 b. 外国語表現の能力 c. 外国語理解の能力 d. 言語や文化についての知識・理解

Unit 1 My Family's Dog

(配当時数:2 時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) work for ~ / take ~ for a walk / every other day / give ~ a bath および《WB》の表現	日常の習慣[生活]を表す表現に習熟する。		○		○	《Check》, 《Ex.A》により、日常の習慣を表す表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	ペットの紹介を聞いて、家族とペットの関係について理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文を参考に、 《Ex.A》を紹介文にまとめる (自分のペットについて、まとめてもよい)。	言語材料を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 2 My Sister

(配当時数:2 時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) five centimeters taller than ~ / a senior at ~ / be busy with ~ / once a month および《WB》の表現	比較表現や所属する学年・学校、専攻した学部などの表現に習熟する。		○		○	《Check》, 《Ex.A》により、比較表現や学校生活などに関する表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	姉の紹介を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.A: 例を参考に、自分の兄弟・姉妹などを紹介する英文を書く。 Ex.B: クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 3 Introducing a Friend

(配当時数:2時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) usually / call ~ ... / by bike / It takes ~ ... to do. および《WB》の表現	頻度やかかる時間などの表現を理解する。あわせて、好きなスポーツ・趣味などの表現に習熟する。		○		○	《Check》, 《Ex.A》により、頻度や趣味などの表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	友人の紹介を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文を参考に、友人の紹介や自己紹介をする英文を書き、クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 4 How to Get to School

(配当時数:2時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) a five-minute walk from ~ / take a taxi / bound for ~ / change to ~ および《WB》の表現	通学・乗り物などについての表現に習熟する。		○		○	《Check》により、通学・乗り物などについての表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	通学方法の説明を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.A: 例を参考に、自分の通学方法を説明する英文を書く。 Ex.B: クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。 発表の際、絵や略地図を用意できたかも考慮する。

Unit 5 My Dream

(配当時数:2時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) while「期間・時点」 / even more ~ / both ~ and ... / be determined to do および《WB》の表現	接続詞や決意を表す表現、職業などについての表現に習熟する。		○		○	《Check》, 《Ex.A》により、決意を表す表現や職業などについての表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	将来の夢についての話を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文を参考に、《Ex.A》の対話を英文にまとめ、クラスで発表する(自分の将来の夢についてでもよい)。	言語材料を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 6 Five Years Ago and Now

(配当時数:2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) What is ~ like? / not ~ either ... or — / used to do / would および《WB》の表現	過去の習慣などを表す表現 や頻度についての表現に習 熟する。		○		○	《Check》により、過去の習慣を 表す表現などに習熟しているか どうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	5 年前と現在との比較を聞いて 理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかど うかで、評価する。
Ex.A: 例を参考に、5 年前の 自分についての英文を書く。 Ex.B: クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切 な内容・分量の英文を書き、 発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表 により、評価する。

Unit 7 My Favorite Subjects

(配当時数:2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) as you know / It's nice to do ~. / ~, and so on / ~ as well as ... および《WB》の表現	It ~ to do ... の表現や科 目名についての表現に習熟 する。		○		○	《Check》により、It ~ to do ... などの表現に習熟してい るかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	科目の好き嫌いについての 話を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかど うかで、評価する。
Ex.A: 例を参考に、自分の科 目の好き嫌いなどについて英 文を書く。 Ex.B: クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切 な内容・分量の英文を書き、 発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表 により、評価する。

Unit 8 Chichibu Night Festival

(配当時数:2 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) be located in ~ / be famous for ~ / be held / with ~ -ing / remind ~ of ... および《WB》の表現	位置を表す表現や特産物な どについての表現に習熟す る。		○		○	《Check》, 《Ex.A》により、位置 を表す表現などについての表 現に習熟しているかどうかで、 判断・評価する。
(B) 本文リスニング	出身地についての説明を聞 いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかど うかで、評価する。
Ex.B: 《Ex.A》の例を参考に、 自分の(好きな)町について英 文を書き、クラスで発表する。	言語材料を活用して、適切 な内容・分量の英文を書き、 発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表 により、評価する。

How to Say It 1 ①Asking the Way ②Changing Trains

(配当時数:2時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) how to get to ~ / go down ~ / turn right[left] および Vocabulary	道案内の表現に習熟する。		○		○	《Exp》の対話に習熟し、Step 1, 3 の対話がうまくできるかどうかで、判断・評価する。
(B) Step 2 のリスニング Step 4 で、ある場所への行き方を英語で説明する。	ジムの行きたい場所を理解する。 言語材料を活用して適切な説明ができる。	○ ○	○	○		設問に確実に答えられたかどうかで、評価する。 実際の説明で評価する。

Unit 9 Kenta's Favorite Pastime

(配当時数:3時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) like ~ in one's free time, one's favorite pastime / prefer -ing (to -ing) / with ~ in hand / while「対比・対照」 / recommend -ing および《WB》の表現	趣味の表現や関連する語句について習熟する。		○		○	《Check》により、趣味の表現などに習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(On Closer Look) パラグラフの基本を学ぶ。	テーマ、トピック・センテンス、サポート・センテンスの構成を意識する。		○		○	《Ex.A》により、パラグラフの構造が理解できているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リーディング	余暇の過ごし方についての記事を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に、自分の好きな音楽、本、絵について英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 10 Yuta's Hero

(配当時数:3時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) ~, haven't you? / have been translated / It is ~ that / I bet ~ / be active in (-ing) および《WB》の表現	現在完了、付加疑問文、強調構文などの表現や職業に関する表現に習熟する。		○		○	《Check》により、現在完了、付加疑問文、強調構文に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(On Closer Look) 英語を話す際の「抑揚(イントネーション)と意味」を学ぶ。	抑揚による意味の違いについて理解し、発表に生かす。		○		○	《Ex.A》により、抑揚をうまく再現しているかどうかで、判断・評価する。

(B) 本文リスニング	尊敬する人物についての話を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に、自分が尊敬する人物についての英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 11 Where Would You Go?

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) If I could ~ / would like to do / First, Second, Third, / be interested in ~ / such as ~ および《WB》の表現	仮定法, 列挙の表現, 例示の表現や, 旅の表現・地名などに習熟する。		○		○	《Check》により, 仮定法, 列挙の表現などに習熟しているかどうかで, 判断・評価する。
(On Closer Look) 列挙する場合の表現を学ぶ。	列挙の表現に習熟し, 複数の例をあげることができる。		○		○	《Ex.A》により, 列挙の表現を正しく指摘できているかどうかで, 判断・評価する。
(B) 本文リーディング	行ってみたいところについての話を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで, 評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に, 自分が行ってみたいところについて英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して, 適切な内容・分量の英文を書き, 発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により, 評価する。

Unit 12 Yuki's School Festival

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) put on ~ / in charge of ~ / cast ~ as ... / learn ~ by heart / stage fright / bear fruit および《WB》の表現	文化祭[体育祭]関連などの表現に習熟する。		○		○	《Check》により, 文化祭[体育祭]関連などの表現に習熟しているかどうかで, 判断・評価する。
(On Closer Look) やさしい表現での言い換えを学ぶ。	和英辞典を調べずに, 知っている表現で言い換えることができる。		○		○	《Ex.A》により, 課題ができているかどうかで, 判断・評価する。
(B) 本文リスニング	文化祭での経験についての話を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで, 評価する。

Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に、学校行事についての英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。
--	--	---	---	--	--	------------------------

Unit 13 Takashi's Chanko-nabe

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) a big ~ fan, a big fan of ~ / called ~ / whether ~ or not / run「経営する」 / Why don't you ~? および《WB》の表現	「～が好きである」などの表現やくだもの、野菜、料理名について習熟する。		○		○	《Check》により、「～が好きである」などの表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(On Closer Look) 内容構成について学ぶ。	文章の内容に適した構成を考えることができる。		○		○	《Ex.A》により、内容構成について正しく指摘できているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リーディング	好きな食べ物についての話を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に、自分の好物についての英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。

Unit 14 Can You Guess?

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) can tell / look like ~ / in fact / to be precise / none other than ~ および《WB》の表現	「～に似ている」などの表現や、事物について描写する表現に習熟する。		○		○	《Check》により、「～に似ている」などの表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(On Closer Look) 聞き手への問いかけを学ぶ。	聞き手の関心を保つため、適度な問いかけができる。		○		○	《Ex.A》により、聞き手への問いかけ表現を正しく指摘できているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	漢字のなりたち(字源)の説明を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参考に、ほかの漢字の字源を説明する英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。 視覚的な補助を用意できたかどうかも考慮する。

Unit 15 Different Types of Tennis

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料	評価規準	評価の観点	評価方法と評価基準
-----------	------	-------	-----------

(B) =言語活動		a	b	c	d	
(A) one is ～; the other (is) ... / in many ways / the way ～ / the former ～; the latter ... / in spite of ～ および《WB》の表現	類似の事物とそれを対比する 表現やスポーツに関する表現 に習熟する。		○		○	《Check》により、類似の事物と それを対比する表現に習熟して いるかどうかで、判断・評価す る。
(On Closer Look) 対比・対照の表現を学ぶ。	2つ(以上)のものごとを対比・ 対照するときの表現を用いる ことができる。		○		○	《Ex.A》により、対比・対照表現 を正しく指摘できているかどう かで、判断・評価する。
(B) 本文リーディング	2種類のテニスの違いについ ての話を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどう かで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》参考に、 2つのものを比較して相違点と 類似点をあげる英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、 適切な内容・分量の英文 を書き、発表することができる。 る。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表 により、評価する。 説明に有用な絵や写真などを 用意できたかも考慮する。

Unit 16 What to Wear

(配当時数:3時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) ～, say, ～ / on the one hand, ～; on the other hand, ... / do love, did love / make sure ～ / one more thing および《WB》の表現	例示や付加などの表現や、 服装に関する表現に習熟す る。		○		○	《Check》により、例示や付加な どの表現に習熟しているかどう かで、判断・評価する。
(On Closer Look) 例示の表現を学ぶ。	例を示すときの表現を用いる ことができる。		○		○	《Ex.A》により、例示の表現を 正しく指摘できているかどう かで、判断・評価する。
(B) 本文リスニング	海外旅行での服装について の話を聞いて理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどう かで、評価する。
Ex.B: 本文や《Ex.A》を参 考に、自分の好きな服装に ついて英文を書く。 Ex.C: クラスで発表する。	言語材料と《OCL》を活用して、 適切な内容・分量の英文 を書き、発表することができる。 る。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表 により、評価する。 具体例が述べられているかも考 慮する。

How to Say It 2 Sightseeing

(配当時数:1時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) I'd like to purchase ～ / The pass is good for ～. / Is there ～? / May I have ～? および Vocabulary の表現	旅行、チケット購入の表現に 習熟する。		○		○	《Exp》の対話に習熟し、Step 1, 2 の対話がうまくできるかどう かで、判断・評価する。

(B) Step 3:モデル対話を参考に、オリジナルの対話文を作り、演じる。	言語材料を活用し、劇場で入場券を買うことができる。	○	○			Step 3 の対話の実演で評価する。
--	---------------------------	---	---	--	--	---------------------

How to Say It 3 Eating Out

(配当時間:1時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) I'll have[take] ～. / (For) here, please. / (To) take out [away], please. / Can[May] I have ～? および Menu の表現	注文やメニューに関する表現に習熟する。		○		○	《Exp》の対話に習熟し、Step 1, 2 の対話ができるかどうかで、判断・評価する。
(B) Step 3:モデル対話を参考に、オリジナルの対話文を作り、演じる。	言語材料を活用し、店で注文をすることができる。	○	○			Step 3 の対話の実演で評価する。

How to Say It 4 Shopping

(配当時間:1時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) I'm looking for ～. / Do you have ～ in stock? / a kind of ～ / You use it to do ～. / ～, for example および Vocabulary の表現	買い物や文房具に関する表現に習熟する。		○		○	買い物や文房具に関する表現に習熟し、Step 1 の対話ができるかどうかで、判断・評価する。
(B) Step 2:欲しい品物を説明する。 Step 3:モデル対話を参考に、オリジナルの対話文を作り、クラスで発表する。	言語材料を活用し、店で買い物をすることができる。	○	○			Step 2 を適切に説明できるかどうかで、評価する。 Step 3 の対話の実演で評価する。

Unit 17 How to Write E-mails

(配当時間:4時間)

(A) =言語材料 (B) =言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) Hi[Hello] ～, / BTW / asap / Best (wishes), / Take care. / Dear ～, / I'm looking forward to -ing ～. / Sincerely, および《WB》の表現	Eメールの書き出しや結びの表現、省略表現に習熟する。		○		○	小テストなどでEメールの書き出しや結びの表現、省略表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。

(B) 本文メールのリーディング	インフォーマルな文体の E メールと、ややフォーマルな文体の E メールを読んで、理解することができる。	○		○		インフォーマルな文体の E メールとややフォーマルな文体の E メールを読んで英語で質問をし、理解しているかどうかで、評価する。
Ex.A: インフォーマルな文体の E メールを書く。 Ex.B: フォーマルな文体の E メールを書く。	言語材料と 2 つの例を参考に、E メールを書くことができる。	○	○			書かれた英文原稿により、評価する。相手に応じて、適切な文体で書いているかも考慮する。

Unit 18 The Rabbit in the Moon

(配当時数:4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) Once (upon a time), / ~, while ... (対比・対照 → Unit 15) / That's why ~. / The moral of this story is ~.	物語でよく用いられる表現に習熟する。		○		○	本文中で意味の確認をし、小テストなどで、これらの表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リーディング	昔話を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、判断・評価する。
Ex.A: 指示に従って本文の英文要約を書く。 Ex.B: つなぎのことばを補い、要約を改良する。 Ex.C: 感想も添えて、要約を完成する。 発展: 課題文の英文要約をし、クラスで発表する。	言語材料を活用し、また指示に従って、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。 つなぎのことば、感想などが入っているかも考慮する。

Unit 19 Triple Self-Portrait

(配当時数:4 時間)

(A) = 言語材料 (B) = 言語活動	評価規準	評価の観点				評価方法と評価基準
		a	b	c	d	
(A) Do you notice ~? / express oneself / nicer than they really are / As ~ shows,	絵画の説明・描写の表現に習熟する。		○		○	本文中で意味の確認をし、小テストなどで、これらの表現に習熟しているかどうかで、判断・評価する。
(B) 本文リーディング	絵画の紹介文を読んで理解する。	○		○		《QA》に適切に答えられたかどうかで、判断・評価する。
Ex.: 指示に従って、本文を参考に、別の絵画の紹介文を書き、クラスで発表する。 発展: 絵画の登場人物の立場になって紹介文を書き、クラスで発表する。	言語材料を活用し、また指示に従って、適切な内容・分量の英文を書き、発表することができる。	○	○			書かれた英文原稿や口頭発表により、評価する。 画家の意図を意識して、異なる視点から書いているかも考慮する。